

第4学年 道徳科学習指導案

日 時 7月11日(土) 2校時
 対 象 4年1組 32名
 授業者 工藤 愛美

- 1 題材名 「I Love 弘前」
 教材名 「へこたれない きせきのりんご」(新版みんなのどうとく4年 Gakken)
 〈A-(5) 希望と勇気 努力と強い意志〉

2 校内研究との関わり

本時では、困難の中でもやりぬこうとする行動について、人は弱さをもちながらも、周囲の支えや自分の思いをよりどころにして努力を続けていることに気づき、その支えとなるものを複数の視点から考え、自分の考えをもつことを目指す。

本時では、「自律に向かう学び」のうち、以下の段階を位置付ける。

㊦ 児童と教師で学びの進め方を調整する。

㊦ 児童がつくり出す学びの中からよさを評価する。

さらに、一人ひとりの考えの違いに気づき、認め合う活動を通して、

㊦ 認知・思考の多様性

を生かした学びにつなげたい。

3 本時の授業

(1) 目標

困難の中でもあきらめずにやり抜こうとする姿に目を向け、その行動を支えるものについて多面的に捉え、目標に向かって努力することについての考えを深めることができる。

(2) 展開

学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の発言・思考	・教師の働きかけ ◎評価 ☆支援 □校内研究との関わり
1 「きせきのりんご」について知っていることを話し合う。 ○「きせき」とはどんなことなのでしょう。 ・今までにないもの ・とても美味しくて貴重 ・誰にもできなかった自然栽培を行った	・児童が自分事として捉える入り口として、自身の経験を想起させながら、話題を提示する。
2 「へこたれない きせきのりんご」を読んで考え、話し合う。 ・木村さんってすごいなあ。 ・子どもの作文のことを知っても、どうして止めなかったのだろう。 ・失敗ばかりだったのに、どうしてやりぬくことができたのかな。 「やりぬく」とは、どういうことだろう。 ○何年も失敗が続く、木村さんはどんな思いだったのでしょうか。 ・子どもにこんな作文を書かせてしまって申し訳ない。 ・このままでは生活できない。 ・どうして育ってくれないんだ。 ・自然栽培は無理なのだろうか。 ●木村さんはなぜ、どんぐりの木の生長に気付くことができたのでしょうか。 ・自然の力を信じていたから。 ・自分のやり方や今までの努力が自信につながっているから。	・木村さんの思いや「やりぬく」姿に着目させながら範読する。 ・登場人物の行動や思いを整理しながら板書していく。 □教材を読んだ後の児童のつぶやきや疑問から、学習課題を設定する。 [自律㊦] ・木村さんへの共感から生まれる問いを投げかけることで、「つらい」だけではない感情の揺れを具体化する。 ・どんぐりの木を発見した場面について取り上げ、自然の力に目が向いた木村さんのこれまでの努力や信念について議論を深めていく。

・自然栽培を成功させたいという強い思いがあるから。 ○木村さんを支えたものは、何でしょう。 ・自然栽培を実現させたいという夢 ・家族の存在 ・失敗する悔しさ ・やり抜こうという信念 ・応援してくれる人たち	・自然栽培にこだわり続けた木村さんの姿を多面的に捉えられるようにする。 ☆多様な児童の発言の中から、自分の考えに一番近いと思うものを選ぶ場面を設定する。 □友達との視点の違いを整理し、努力の支えになるものが一つではないことに気付かせる。 〔多様性②〕 ◎困難の中でもやりぬこうとする行動について、人の弱さや支えの存在に目を向けながら、その支えとなるものを多面的に考え、表現している。 (発言・ノート)
3 自己の生き方につなげる。 ○自分なら「○○のりんご」の中に入る言葉は何だと思いますか。 ・努力のりんご ・希望のりんご	・「奇跡」が偶然ではなく、信念をもって努力を続けた結果であることに気付かせ、道徳的価値に迫る。 □自分にも努力を続ける信念や、大事にしたい思いがあることに気付かせ、価値を再定義することができるようにする。〔自律⑤〕